

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 畠山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷株

次年度副会長決定！



山根宏典会員

この度、次年度副会長の承認をいただきました山根宏典です。次年度は水次年度会長を支え、35周年事業にも精一杯の力を注いでいきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



桶村清子会員

次年度の副会長を拝命いたしました桶村です。再びの大役ですが、先輩方の築かれた歴史と未来をしっかりと見据えながら水次年度会長を支え、運営に邁進してまいります。よろしくお願いたします。



土岐哲己会員

微力ではありますが、水34期会長を支え、会の運営に注力する所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

3月例会

平成20年3月17日（月）米子市淀江文化センター（さなめホール）

『サントリー天然水(奥大山)にこめる想い』と題して魅力アクション委員会主催による3月例会が開催された。

今回は、例会に先立ち、東京の水道水・米子の水道水・そして天然水の3種類を当てる試飲クイズが行われ1～3位の委員会には賞品が出ることもあり、参加者はみな真剣な表情を浮かべて飲み比べていた。冒頭、中田会長は挨拶の中で「トライアスロンは中央会全体で取り組んでいかなければならない」と会員に向けた激励の言葉を述べられた。続いて、2名の新入会員(野口浩一会員、中田健雄会員)へバッジ授与が行われ入会に当たって熱い意気込みを感じる挨拶があった。トライアスロンタイムではマラソン部長(須山会員)、ボランティア部長(松江委員長)AS部長(花園会員)がそれぞれ抱負を述べられ、実行委員長(福田直前会長)より「横のつながりを密にし、オール中央会でがんばろう」と全員に呼びかけられた。

また今回は副会長選任の指名推薦の件について臨時総会が行われ、水次年度会長より推薦のあった3名の副会長候補(土岐会員、山根会員、桶村会員)が満場一致で承認された。委員長タイムでは、ビジネス委員会の佐々木委員長が、手書きの紙芝居を用いた「相場の格言」についてユーモアを交え分かりやすく話された。続く講演会では、サント

リー株式会社より、食品カンパニー食品事業部、ウォータービジネス部長 石井靖幸氏にご講演いただいた。はじめに石井氏は、ミネラルウォーター市場は近年急成長しており、今後も市場は拡大し続け、現状の3倍の規模になるのではないかと予想されていた。そしてその中、山梨県の南アルプス、熊本県の阿蘇に続く第三の水源として50以上の候補地の中から奥大山が選ばれた。その理由としては、今後需要が伸びるであろう京阪神に近いこと、自然環境が保たれる国立公園に隣接していること、ブナの森の高い保水力と安定した降水量がある、といった商業的・経済的な理由と共に、サントリー天然水の3つの理念「水を選ぶ、水を守る、水はぐくむ」にも合致したからであった。石井氏は「目指すものは、雄大な自然との共生、環境や自然を壊さずそれに溶け込んだ形で自然を守る」と述べられ、その精神は工場に「奥大山ブナの森工場」と名づけられたことから伺える。また自然地域社会との共生として、工場では天然ガスを使用し排出ガスの削減に努めたり、雪室を作り空調に利用するなど環境にやさしいエネルギー利用にも取り組まれている。最後に石井氏は「この商品と共にサントリーも発展し、鳥取県西部地域の経済産業の活性化に一役も二役も買わせてもらいたい」と述べられた。ちなみに試飲クイズの順位は、1位環境問題委員会、2位広報委員会、3位会員力委員会でした。



記事 生田

委員会活動 **ビジネス委員会**

3月11日 全日空ホテル

安来商工会議所青年部と当会ビジネス委員会がオール山陰としてお互いの活動を知る事を目的に、ビジネス委員会と合同で3月合同勉強会が行われた。当会、安来商工会議所青年部、共に多くの会員が参加した。安来商工会議所青年部会頭、並河 勉氏をお招きして並河氏の豊富な経験、想いなどを伺った。以前、仕事の関係で駐在された中東の話題では、日本の中近東に対するエネルギー資源の依存度の高さ、イスラエル情勢など、「機会があれば、中東の方に興味を持って」と、世界に目を向



ける事も必要と感じた。地域の想いとしては、「地域は横に広がって活動していく必要がある」と言われた。山陰として一つになって我々が住む地域を豊かにする事など多くを語られた。「基本は地域がベース。山陰には他県にも誇れる遺跡、建造物、自然が多い。その恩恵を受けている我々個人・企業・団体がそれぞれを知り、そしてそれらを他者に伝えられるようになるのも我々の義務ではないだろうか。」と、ここで山陰にまつわる遺跡・建造物などをまとめたVTRを鑑賞した。

山陰の具体的な商品の開発、山陰発の地域の企業製品、商品をもっと押し出す事が山陰という地域を豊かにする事の一つの要因なのであろう。(王子製紙の紙・シャープの液晶・サントリーの水など)

今回の勉強会の題『Borderless & Seamless』(境界線がない、繋ぎ目がない)という、その通りのご講演だった。オール山陰、両県が密接に関わりあっていく事で、山陰の豊かな発展、また、我々経済団体の更なる成長に繋がる勉強会になったと大いにおも。



OB訪問

専門家の豆知識

高井賢一会員

飲み会や、接待の多い多忙なみなさんに二日酔いの対策と解消法を説明したいと思います。

◇かけつけ三杯は悪酔いのもと

肝臓の処理できるアルコールの量は一時間に日本酒にして0.3合くらい(みなさんはわかりませんが…)のもので、急にアルコールがたくさん入ると、肝臓で処理できず、さらにアルコールは胃腸で急速に吸収されるため、飲んだ後30分で血液中のアルコール濃度は最高に達します。“かけつけ三杯”は、酔いの回りが速く、悪酔いの原因になると同時に、肝臓を悪くするものにもなります。

◇迎え酒は一時的なもので、かえって危険

昔から、「二日酔いには迎え酒」と言われています。これは全く根拠のないことでもないので。二日酔いそのものを治す治療にはなりません、確かに一時的には楽になることがあります。その理由は、①軽い中枢神経のマヒ作用 ②血管をゆるめることによって血液の循環が少し良くなる ③心理的効果、などです。しかし、一時しのぎのために、前夜の過飲によって荒れほうだいなっている内臓を刺激するのは良くありません。

◇二日酔いの解消法

①ランニング、トレーニングジムで汗を出す ②サウナに入る、ぬるいお湯に入る、シャワー ③たくさん飲んで、体内から出す(冷たい水、熱いお茶と梅干し、コーヒー、スポーツ飲料、オレンジジュース) ④しっかり食べよう(しじみの味噌汁、柿、大根おろし、アイス) ⑤睡眠

◇二日酔いにならない為に

①飲む前にビタミン剤と一緒に栄養ドリンクを飲む ②食べて、胃や肝臓に負担をかけない ③良く睡眠をとってから飲む ④ちゃんぽんをしない
よくちゃんぽんをすると悪酔いすると言いますが、結局はアルコールの量の問題です。

ご入会のきっかけは？

先輩方におもしろい会があるからと誘われたのがきっかけです。
また、東部出身だったので西部の人たちと知り合いになればともおもしろい入会しました。

思い出に残っている出来事は？

ハンサム の創刊に関わったことですかね。「Handsome」の「u」が植田の頭文字になっています。いかげんなスペルですが皆の頭文字を並べ替えたならハンサムって読めるんじゃないか(苦笑)という感じでタイトルが決まりました。いろいろ夜遅くまでずっともんだを繰り返したのを覚えています。
あの頃と比べると今のハンサムは4ページもあってずいぶん立派になったなあと感じています。

一番思い出に残っていることは何ですか？

私が入会した頃は、話し掛けるのを躊躇してしまうような、怖い先輩がいたんですが今はそんな人もいないんですよね。なんだかみな大人しいような感じがします。

あと、わたしは15年もいたので途中中だるみもありましたが、最初の数年と最後の数年はけっこう出ていました(笑)。やはり卒会してみるともっと出ていたらよかったなあと思っています。

みなさまも会社の代表として出ているのですから、できるだけ出席して自分を知ってもらいアピールしたほうがいいとおもいますよ。

お忙しいなか時間をとっていただきありがとうございます。くしくもハンサム取材で創刊当時のハンサムの話が聞けたのが、新入会員の私には新鮮でした。

しずかに話される姿がとても印象的で、初めての取材だったのですが安心してできました。

記事:朝原

鳥取県中小企業青年中央会 経営研修会ご案内

名称:平成19年度鳥取県中小企業青年中央会 経営研修会

日時:平成20年4月23日(水) 16:00~19:30

場所:ホテルモナーク鳥取「仁風の間」

(鳥取市永楽温泉町403 TEL 0857-20-0101)

内容:SC鳥取社長 塚野 真樹氏 基調講演及び懇親会

演題:『チームワークの大切さについて』

研修会費:2,500円

中央会アーカイブス

メタボリック中央会

中央会の連中のほとんどはメタボである。

いや、「メタボリックプロイラー」という表現がふさわしい。

委員会や例会でご飯を食べて、その後朝日町で飲み食いして…。という行動を繰り返しているから、入会数年で人相がすっかり変わり果ててしまう。

私を知る中で、その代表の一人は、金融機関で大活躍されている某OBである。彼がまだ現役副会長だった頃、学生時代の写真を見せてもらったことがあるが、どう考えても別人の「プチハンサム」がそこにいた。「もしかしたら、『逆整形』してるんじゃないか？」と疑ったほどである。こういう方は現役会員の中にも結構いる。

また、副会長つながりでいえば、変り種は某会員である。彼はカロリーコントロールをしているようであるが、時々気を抜くためか太ったり痩せたりの繰り返しである。彼の「論理的求道者」のイメージから考えると、「おちゃめ」であるともいえる。(私は陰で「デニウロ」といつている。)

そういう私は、現在「メタボ」プラス「薄毛」が同時進行し、入会当時の面影はまったくなく、「野武士」というより「落武者」である。(かといって運動するわけでもなく、やっているのはせいぜい紙芝居による抵抗運動だけというのも哀しい。)

「月日は容赦なくおっさんに変える」という教訓だけがそこにはある。

また、外見上は「メタボ」ではあっても、精神がそうであってはならない。(説得力に欠けるけどな…。)

記事: 植田

Creative&Action

「Creative&Action」について

今川圭一会員

皆様、こんにちは。

私の「CREATIVE&ACTION」とは、料理に携わる人間として「食」を通じてお客様に満足していただける様なお店作りを目指すことです。

その一例としては、旬の食材を生かしてのコース料理作りです。定期的にコース内容を変更しているのですが、自分としては「よく出来たな」なんておもっていても、お客様は十人十色ですので反応も様々で、喜んでいただけただ点を生かし次につなげ、そうでない点は「何が満足していただけなかったのか」を反省、研究し少しでも「十人一色」に近づける様、努力しています。

店の雰囲気作りとしては、いかに心地よく食べていただき、いかに気持ちよく帰っていただき「また、あのお店に行きたいな」とおもっていただける様、心掛けています。「満足」＝「笑顔」常に笑顔の絶えないお店、その笑顔が見たいから私は料理を作り続けているのかもしれない。

以上の事を踏まえて、日々「CREATIVE&ACTION」しているのだなぁとつくづく感じます。このテーマと出会えた事に感謝し、改めて考えさせられた一言でもありました。これからの中央会活動におきましても、このような気持ちを持って挑んでいきたいとおもいます。



おもひでの一言

A word of a memory

藤井康之会員

以前ある会社の社長と話をする機会があり、そのとき強く心に残ったのがその会社の理念で「周りから、お客様から素晴らしいと言われる人と会社になる」という言葉です。

当たり前ようですが、いざ実行しようとおもうとこれがなかなか難しい。

商売をするときは必ずお客様が存在します。そのお客様に好かれてはじめて買ってもらえるのです。商品がいいとか、価格が安いとかの前に、店員が好きだから買う。好き・嫌いが根底にあることを覚えておきましょう。仕事を通じて自分を高め、会社の教育で自分を磨いて「君は素晴らしい！君から買ってあげよう！」と言ってもらう。お客様の困っていることを考え、解決して、お客様の喜ぶ顔を見る。君以外からは買わないと言って貰えるくらい、お客様から強く強く必要とされる人と会社になる・・・ちょうど会社でいろいろなことを任せられるようになって、様々な壁にぶち当たっていた私は、この社長の熱い思いとお話に大きな感銘を受けました。商売はもちろん、社会においても、基本は人と人の繋がりなんだと改めておもいました。

以来、「周りから、お客様から素晴らしいと言われる人と会社になる」を目標に日々努力をしているつもりですが・・・やっぱり難しいですね。(笑)

皆さん、誰かから「君は素晴らしい！」と言ってもらったこと、ありますか？

こだわりの逸品

ワインを愛飲し始めてかなりの月日が経った。その間に結構な数のヴィンテージワインを飲んできた。エチケット(ラベル)に執着するようなこともなく、今日まで至っているのだが、どうしても捨てられない空ビンがある。

『ロマネ・コンティ』、この名はワインをよく知らない人でも一度は聞いたことがあるのではなからうか。

“Domaine de la Romanee Conti”(ドメーヌ・ド・ラ・ロマネコンティー通称DRC)は、世界で最も有名で、高価なワインを造り上げ、Montrachet(モンラッシェ)を含む、Vosne-Romanee(ヴォーヌ・ロマネ村)の、Grand Cru(特級)のみをリリースして来た。しかし数十年ぶりに品質的に、完璧かつ多産だった、1999年に例外中の例外として“Vosne-Romanee Premier Cru”(1級)を、リリースした。これは所有している、1級格の畑のものではなくて、“La Tache”(ラ・ターシュ)を中心とした、特級(ロ

マネ・コンティは含まれていない)の若樹からと、2番摘みの葡萄から造られており、基本的にはレストランにしか販売されないもののようで、かなり入手困難と言われていた。

そんな偉大な珍品を口にする機会があり、歴史の生き証人にでもなった気分浸った思い出の空ビン。もし今度入手する機会があったら歴史に残る1本として、セラーに大切に保管しておきたいとおもっている。ただ、各ワイン専門誌でも絶賛されている素晴らしい出来。今後は更に値上がりか、殆ど入手不可能となるだろう。

記事: 中島太郎



3月度委員会報告

会員力委員会

平成20年3月6日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名
 議題/・4月担当例会について
 ・会員拡大について
 ・新入会員オリエンテーションについて

地域ビジョン委員会

平成20年3月5日(水)於:ウェルネス・インほうき路 出席者/10名
 議題/・5月担当例会について
 ・岡山・大阪食べ歩き研修まとめ

環境問題委員会

平成20年3月4日(火)於:ウェルネス・インほうき路 出席者/12名
 議題/・学校訪問の報告・企画検討
 (環境問題教育について)

ビジネス委員会

平成20年3月11日(火)於:米子全日空ホテル 出席者/12名
 議題/・オープン委員会 安来商工会議所青年部との合同勉強会

・演題「borderless&seamless」

講師 安来商工会議所会頭 並河 勉氏

魅力アクション委員会

平成20年3月5日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/10名
 議題/・3月担当例会について

政治行政委員会

平成20年3月6日(木)於:味空間こうりん坊 出席者/7名
 議題/・例会結果を踏まえた今後の展開について

広報委員会

平成20年3月10日(月)於:インサイト 出席者/11名
 議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担
 ・新HPについての作業

総務委員会

平成20年3月10日(月)於:インサイト 出席者/10名
 議題/・内部書類の整理ならびに通年行事のマニュアル化について

(環境問題)



たなか けんじ O型
 田中 健雄
 田中司法書士事務所 司法書士
 登記手続・相続手続・債務整理・簡裁裁判業務等
 〒683-0845 米子市旗ヶ崎七丁目11番25号
 TEL 24-1241 FAX 29-7499
 H20.3 (H19年度) 入会 (KT) 090-9993-6931
 (推薦者) 松江(智) (EM) banana@jasmine.ocn.ne.jp
 山本(徹) S51.6.9生

(コメント) 現在、司法書士をさせていただいております。主な業務内容は、土地建物の不動産登記、会社の登記、相続手続、サラ金等の債務整理並びに簡易裁判所における裁判業務です。

スピード感を持って、日々業務に携わっております。私事で恐縮ですが、今年の9月に1児のパパとなる予定です。今まで以上に忙しくなること必至となりますが、公私共々充実した日々を重ねたいとおもっております。至らない事ばかりですが、今後とも宜しくお願いいたします。

(総務)



の ち ひとし B型
 野口 浩一
 川中・足立・野口法律事務所 弁護士
 弁護士業務(民事・家事・破産・刑事等)
 〒683-0823 米子市加茂町2丁目219番地 増谷ビル2階
 TEL 33-7701 FAX 33-7306
 H20.3 (H19年度) 入会 (KT) 090-3889-7701
 (推薦者) 畠山(広) (EM) kwk2219@alpha.ocn.ne.jp
 杉山(尊) S56.8.22生

(コメント) この度、鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させていただくことになりました。

平成17年10月に地元に戻ってくると同時に弁護士登録を行い、現在は川中・足立・野口法律事務所で弁護士として活動しております。

今後、様々な分野でご活躍されている会員の皆様方とお付き合いさせていただきながら、いろいろと勉強させていただきたいとおもっております。

趣味は、ゴルフと高校までやっていた野球です。最近は、ゴルフも野球もプレーする機会がありませんので、声をかけていただけたらとおもいます。

現在26歳ですので長い間お世話になることとおもいますが、よろしくお願いたします。

●お誕生おめでとう●



りん
川村 琳ちゃん

平成20年1月29日生まれ
 川村 健会員の三女(第4子)

我が家に新たな家族が増えました。
 1月29日に第四子となる三女の琳(りん)です。

皆様、宜しくお願いたします。



きょうし ろう
松本京史朗ちゃん

平成20年2月17日生まれ
 松本誠二会員の二男(第2子)

去る2月17日に第二子が誕生いたしました。
 松本京史朗(きょうしろう)と申します。
 がわいすきて、仕事に支障をきたしてあります
 が(笑)

なんとかがかんばるうと思ひます。よろしくお願ひします。

中央会の思い出

釜田公文会員



平成7年に入会して早かったのか遅かったのか13年間、とにかく知り合いが増えた。

入会当初は諸先輩達に早く名前を覚えてもらうためなんでも率先して取り組んでいたような気がする。一番記憶に残るのは、「とびきり鳥取-夢みなと博」。一年掛けたビッグプロジェクトだろう。2時間番組を毎日深夜2時ぐらいまで喧々囂々と中央会メンバー総出で各班に分かれて作業を前日から翌朝まで睡眠無しでやりきった。高知と境港を2元中継の生番組。みんなで力を合わせると何でも出来るのである。この先OBになる身ではあるが参考になればとおもう。おっと、この先なんと言って家を抜け出そうか思案中の身である。それではこの辺で酒が待っている。さらば友よ。

4月役員会報告

3月定例役員会が平成20年4月1日(火)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・3月例会の反省・報告の件
- ・4月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

4月例会案内

と き:平成20年4月12日(土)
 10:00~開会 15:00閉会

ところ:米子児童文化センター及び湊山公園

内 容:レクリエーション例会

「パイレーツ・オブ・ナカウミ」

海からみる弓浜半島・中海伝説そして花見で乾杯!!

担 当:会員力委員会

編集後記

旧友と偶然に再会した。小中高を同じ学び舎で過ごし、中学時代はともに陸上部だったので仲が良かった。高校卒業後は別々の進路を選択したこともあり、時折風の便りに彼のことは耳にしたしたが、20年間会うことはなかった。

本局でのすれ違いざま、双方が一瞬で気付いて互いの愛称を呼び合う。久々に再会した印象は「(腹は出たけど)お互い変わらんなあ」。人目をはばかることも忘れ、大の男が局内のテーブルで談笑すること一時間。飲酒を伴わずに、あんな風に腹の底から笑えたのは大学以来だろうか。

学友の良さを再認識した春のできごとだった。次に会うのが楽しみだ。

広報委員会